



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月13日

上場会社名 株式会社東天紅 上場取引所 東
 コード番号 8181 URL http://www.totenko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久
 問合せ先責任者 (役職名)総務部長 (氏名)福岡 廉雄 (TEL)03(3828)6272
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	4,213	△7.3	△458	—	△494	—	△582	—
26年2月期第3四半期	4,546	△8.1	△200	—	△218	—	△265	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△22.67	—
26年2月期第3四半期	△10.33	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	14,556	8,647	59.4
26年2月期	13,705	8,869	64.7

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 8,647百万円 26年2月期 8,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△5.1	△250	—	△300	—	2,800	—	108.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期3Q	25,728,716株	26年2月期	25,728,716株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	39,717株	26年2月期	38,426株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期3Q	25,689,552株	26年2月期3Q	25,691,467株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(7) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による金融緩和をはじめとする積極的な経済政策を背景に、緩やかな回復基調が続いているものの、消費税増税による個人消費への影響もあり、想定以上に厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況のもとで、当社は、営業力強化による黒字転換を目指して諸活動に取り組んでまいりました。

まず、セールス活動の再構築と徹底強化により、宴会売上確保に努めました。既存顧客の囲い込みに加え、官公庁・各種団体、業績好調な業種などの新規開拓セールスを継続的に実行してまいりました。

次に、婚礼ブランド「LUCIS (ルーキス)」「Coeur et Coeur (クーレクール)」「LA VIE CLAIR (ラヴィクレール)」に加え、他の店舗においても、好調に推移しております顔合わせ、食事会、二次会等の婚礼事業のさらなる強化を図りました。

さらに、平成26年5月より改装に着手いたしました「オペラシティ東天紅」は、9月にリニューアルオープンし、順調に推移しております。なお、この改装時期にあわせて、「オペラシティ海燕亭」を閉店いたしました。

また、千葉県松戸市所在の当社所有社員寮・研修センター、並びに、大阪市所在の関西寮を廃止するなどの事業構造改革を進めました。なお、松戸寮跡地については、賃貸マンションを建設し、本年7月より賃貸開始を予定しております。

そして、一昨年より着手しております新「上野店」の建設は、順調に推移しており、本年、1月末の竣工を目指し、宴会セールス、婚礼予約等の営業活動や婚礼メニューの刷新などを中心とした開店準備を進めております。

しかしながら、新「上野店」建設工事の影響や景気の停滞などもあり、宴会部門、婚礼部門ともに売上高の減少となった結果、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比7.3%減の42億1,302万円、営業損失は4億5,888万円(前年同四半期は営業損失2億15万円)、経常損失は4億9,411万円(前年同四半期は経常損失2億1,847万円)、四半期純損失は5億8,241万円(前年同四半期は四半期純損失2億6,550万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ8億5,093万円増加いたしました。

これは主に、四半期純損失の計上となったものの、繰延税金資産を2億9,808万円計上したことなどにより流動資産が3億4,669万円の増加、固定資産は店舗改装等による取得3億9,278万円があったものの除却並びに土地の売却等による減少が3億7,763万円、繰延税金資産を4億2,987万円計上したことなどにより5億423万円増加いたしました。

負債は、前事業年度末に比べ10億7,360万円増加いたしました。

これは主に、借入金が新規実行により9億3,372万円増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ2億2,267万円減少いたしました。

これは主に、土地評価差額金を取り崩しにより9億4,799万円増加した一方、繰越利益剰余金が土地再評価差額金税効果考慮後の5億8,776万円減少したこと並びに四半期純損失5億8,241万円を計上したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	431,801	389,708
売掛金	239,427	317,024
商品及び製品	8,185	6,495
原材料及び貯蔵品	77,418	81,594
繰延税金資産	572,989	871,069
その他	108,383	119,004
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,437,904	1,784,596
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,130,567	1,068,133
土地	8,000,415	7,875,366
その他(純額)	1,161,326	1,363,951
有形固定資産合計	10,292,309	10,307,451
無形固定資産	1,303	37,546
投資その他の資産		
差入保証金	1,695,142	1,690,976
投資有価証券	140,515	140,114
繰延税金資産	-	429,870
その他	139,355	166,907
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,974,414	2,427,268
固定資産合計	12,268,027	12,772,266
資産合計	13,705,931	14,556,862
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,337	155,622
短期借入金	1,690,500	2,801,900
リース債務	9,934	9,489
未払法人税等	37,000	26,000
賞与引当金	64,000	17,000
資産除去債務	35,000	35,000
その他	733,020	939,230
流動負債合計	2,692,793	3,984,242
固定負債		
長期借入金	530,925	353,250
リース債務	14,054	6,937
繰延税金負債	20,894	-
再評価に係る繰延税金負債	833,504	833,504
退職給付引当金	523,574	511,417
資産除去債務	5,200	5,200
長期未払金	140,194	140,194
その他	75,000	75,000
固定負債合計	2,143,348	1,925,504
負債合計	4,836,142	5,909,747

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	945,751	△224,426
自己株式	△8,914	△9,149
株主資本合計	10,070,616	8,900,204
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,797	37,539
土地再評価差額金	△1,238,625	△290,628
評価・換算差額等合計	△1,200,827	△253,088
純資産合計	8,869,789	8,647,115
負債純資産合計	13,705,931	14,556,862

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	4,546,146	4,213,025
売上原価	2,161,925	2,074,936
売上総利益	2,384,221	2,138,089
販売費及び一般管理費	2,584,376	2,596,971
営業損失(△)	△200,155	△458,881
営業外収益		
受取利息	70	44
受取配当金	1,937	2,254
未回収商品券受入益	1,487	1,005
保険配当金	1,536	1,727
その他	1,558	1,809
営業外収益合計	6,589	6,840
営業外費用		
支払利息	22,373	25,778
設備休止費用	-	14,938
その他	2,534	1,361
営業外費用合計	24,907	42,078
経常損失(△)	△218,473	△494,119
特別損失		
固定資産除却損	30,033	566
店舗閉鎖損失	-	33,176
事業構造改革費用	-	426,026
特別損失合計	30,033	459,770
税引前四半期純損失(△)	△248,507	△953,889
法人税、住民税及び事業税	16,993	16,993
法人税等調整額	-	△388,462
法人税等合計	16,993	△371,469
四半期純損失(△)	△265,500	△582,419

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。